

平成28年度		事務事業評価表 A (平成27年度 の実績評価)										記入年月日	
事務事業名		岩瀬駅前広場管理運営事業								事業区分		担当	
政策体系上の位置付け									新規/継続		継続		事務事業No. 040501000772
政 総合計画の施策名 0405 住環境の整備と景観の形成									単独/補助		単独		060201
策 政策名 04 快適で潤いのある生活環境づくり									主要事業		対象外		都市整備課
体 施策名 05 住環境の整備と景観の形成									市長マニフェスト		対象外		グループ
系 基本事業名 01 住生活環境の整備									未来PJ事業		対象外		整備・管理G
財務会計上の位置付け									合併建設設計画事業		対象外		
予算科目 会計 款 項 目 事業 細 一般会計									事業期間				
法令根拠 01 08 04 02 00 岩瀬駅前広場管理事業									単年度繰返し (年度~)				
									➡ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要

①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
岩瀬駅前広場は、JR水戸線岩瀬駅前に平成18年度に整備されたもので、駐輪場と駐車場のほかトイレと多目的スペース、ロータリーがある。管理業務委託によりトイレの清掃、寄せ植えの剪定、除草、清掃等を実施して維持管理に努め、桜川市の玄関口としてふさわしい清潔さを保つ。H21年度に駅前広場整備で竣工した駅前ロータリー、トイレも含めた形で一休段	トイレの清掃管理はシルバー人材センターへ委託し週3回(月水金)実施する。緑地帯はボランティアを動員して芝桜、パンジー等の植栽を実施した。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段(担当者の活動内容)	④活動指標(活動量を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
トイレの清掃管理はシルバー人材センターへ委託し週3回(月水金)実施する。緑地帯はボランティアを動員して芝桜、パンジー等の植栽を実施した。	トイレの清掃回数	回	156.00	156.00	156.00	156.00	156.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象(誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
鉄道を利用する通勤・通学者および桜川市民	桜川市の人口	人	43,190.00	42,444.00	42,048.00	41,652.00	41,256.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図(この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
通勤通学時に安全・快適に利用してもらう。	JR水戸線を年に数回以上利用している市民の割合	%	40.80	42.70	45.00	47.00	50.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	期間限定 総投入量	
						26年度 (実績)	27年度 (実績)
投 事業費 入 量	財源内訳	国庫支出金 千円	0	0	0	0	0
		県支払金 千円	0	0	0	0	0
		地方債 千円	0	0	0	0	0
		使用料・手数料 千円	0	0	0	0	0
		その他 千円	15	15	145	145	145
		一般財源 千円	1,043	895	1,258	1,258	1,258
		事業費計(A) 千円	1,058	910	1,403	1,403	1,403
人 件 費	正規職員従事人数	人	3,00人	3,00人	3,00人	3,00人	3,00人
	述べ業務時間 時間		356.00	359.00	350.00	350.00	350.00
	人件費計(B) 千円		1,033	1,041	1,015	1,015	1,015
	トータルコスト(A)+(B) 千円		2,091	1,951	2,418	2,418	2,418

事業費の内訳	27年度事業費 実績(千円)			28年度事業費 予算(千円)		
	11 需用費	439		11 需用費	570	
	13 委託料	398		13 委託料	740	
	14 使用料及び賃借料	64		14 使用料及び賃借料	93	
	18 備品購入費	9				
			合 計	910		合 計 1,403

(4) 当該年度の実施内容	28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する			
<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設設計画事業 			

事務事業名	岩瀬駅前広場管理運営事業	事務事業No.	40501000772	所属課	都市整備課
【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）					
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
平成18年度岩瀬駅前広場整備事業により駐輪・駐車場が整備され、その後、トイレ・多目的スペース・ロータリーが整備された。駐車場は月極利用のみ駐車場として管理運営を開始したが、一時利用の要望が多いことから19年度より月極め及び一時利用の駅前駐車場管理運営事業を実施している。駅前整備により、以前より駐車場利用者の利便性がはかられ、環境的にもよくなっている。また平成24年度に生活安全課により防犯カメラを設置。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
鉄道利用者より、駐車場だけではなく駅前広場等の整備についても要望が寄せられていた。					
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的な内容					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

評価項目	
目的妥当性	①政策体系との整合性 （この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）
	【結びついている】 岩瀬駅前広場の整備は、鉄道利用者の利便性の向上になり、利用者の増加にも繋がり、安全で快適な住環境の整備に結びついている。
有効性	②公共関与の妥当性 （なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）
	【妥当である】 桜川市の玄関口として、市が管理することは妥当である。
効率性	③成果の向上余地 （成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）
	【向上余地がない】 トイレの清掃は定期的に行い、花壇には花を植えたり除草をしたりして美化に取り組んでいるため向上の余地がない。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 （事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）
	【影響有】 多くのJR利用者や市民が利用するにあたり、清潔で快適な状態を維持できなくなるため影響がある。
⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 （類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む））	（他に手段がある場合）➡
	【余地がない】 類似事業は特にならない。
⑥事業費・人件費の削除余地 （成果を下げずに事業費を削除できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	【削減余地がない】 清潔で快適な利用ができるようにするため削減の余地がない。また、既に植栽事業や除草作業を直営で行っており、事務遂行にあたっては人件費削減はむずかしい。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 （事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）
【公正・公平である】 多くの地域住民が利用する管理事業であり、公正公平である。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括（振り返り、反省点）																			
①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	JRの乗降客や市民のやすらぎと快適な環境整備のため、緑地帯に草花を育てる。																			
(3) 今後の事業の方向性 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> □ 終了 ■ 繼続 □ 改革改善を行う ➡ (複数回答可) <div style="display: flex; align-items: center;"> □ 目的の再設定 □ 効率性の改善 □ 有効性の改善 □ 公平性の改善 □ 統廃合ができる □ 連携ができる </div> </div>																				
(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> <tr> <td rowspan="2">成 果</td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向 上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維 持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		成 果	コスト			削減	維持	増加	向 上				維 持		○		低 下			
成 果	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向 上																				
維 持		○																		
低 下																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 緑地帯の土壌が悪く草花が育ちにくい現状にある。土を入れ替えるなど土質の改善が求められる。																				
(6) 事務事業優先度評価結果																				
成果優先度評価結果																				
コスト削減優先度評価結果																				

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価	
A: 繼続（現状維持） B: 繼続（改革改善を行う）	C: 終了、廃止、休止 D: 2次評価へ提出
確認欄	